

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2017年12月号(第36号)



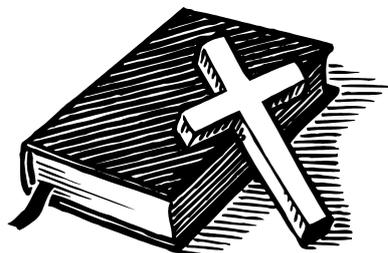
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)

【マタイの福音書 1:23】

聖書、特にイエス・キリスト(以下、主イエス)の生涯について記されている福音書を読んでいますと信じられないような出来事が幾つも記されています。主イエスが病気の人を癒し、自分の足で立つことができなかった人を立たせ、嵐を静め、悪霊を追い出し、死人を生き返らせるのです。私たちは、これらを「奇跡」と呼んでいます、聖書にはこれ以外にも理性的には受け入れがたい出来事があります。最たるものは、クリスマスにマリヤに起こった出来事、処女降誕です。科学全盛の時代の中で、処女が子どもを身ごもり出産することなど受け入れることは困難です。しかし、「今月の聖書のことば」にあるように、処女がみごもり、男の子を産むことは主イエスが誕生す

る約700年前に預言されていました。また、ルカの福音書には、主イエスの母であるマリヤの驚きについても記されています。ルカの福音書には、マリヤの所に御使いが来て、男の子を産むことを告げる場面があります。それを告げられたマリヤは次のように応答します。「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。」(ルカ 1:34)この時のマリヤは、婚約者はいましたが正式に結婚していたわけではありませんでした。それにも関わらず、「男の子を産みます」と言われても、困惑するばかりです。そのマリヤに対して御使いは次のように続けます。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる

